CDA-7949J/
CDA-7848J

CD ヘッド・ユニット

取扱説明書

検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。

安全にお使いいただくために 2

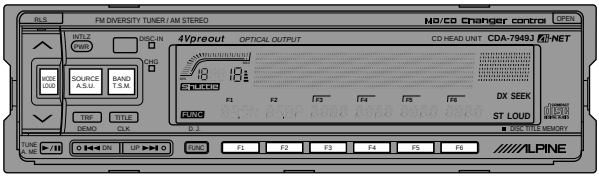
目次と基本操作 5

CD を聴く 15

ラジオを聴く 24

便利な機能 34

リモコンで操作する 60



CDA-7949J

このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
- お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
  内容をよく理解してから本文をお読みください。

● 表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意･警告を通告します。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。 分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

- 本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。
- 本機のお手入れは、乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質／変形しますので絶対に使わないでください。
- 夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。

⚠警告

分解・改造をしない
分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。

小物類は幼児の手の届かないところに保管する
小物類＜電池・ネジなど＞は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ヒューズ交換は容量を守る
ヒューズ交換は、必ず規定容量（ アンペア数）を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。

異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ず＜お買い上げの販売店＞にご相録ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

運転中は操作をしない・表示を見ない
運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。

⚠注意

音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

車以外に使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。

新旧の電池を混ぜない
極性を間違えないように挿入する

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性＜＋・－＞に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

挿入口やすき間には異物を入れない

ディスクの挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。

運転の妨げになる操作は停車させてから行う

可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転（シフトレバー操作など）の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

取り扱い上のご注意

結露にご注意ください

寒い車内を急に暖めると、ディスクセット内部に結露が発生し、ピックアップに付着した水滴がレーザー光線を反射し、誤動作を引き起こすことがあります。このような場合は、ディスクを取り出しておくと、長くても 1 時間くらいで結露が取り除かれ正常に動作します。

指紋やゴミ、傷をつけない

ディスクは盤面に指紋がつかないように取り扱ってください。また、ひっかいたり、文字を書いたり、ラベルを貼ったりしないでください。盤面に指紋やゴミ、傷、そりがあると誤動作の原因になります。

新品のディスクを聴くときは

ディスクの側面やセンターホール面に突起箇所（バリ）があるとイジェクトされます。
このような場合は、ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除いてください。

特殊な形状のディスクは使わない

ディスクは、必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

安全にお使いいただくために

警告／注意 ……3
目次 ……5

基本操作

スイッチの名称 ……6
電源の ON/OFF ……9
瞬時に音量を下げる ……9
パネル固定ネジを外す／リセットする…10
パネルの取り外し／取り付け……11
音量／音質の調整……12
オートマチック・セット・アップ機能……14

CD を聴く

ディスクの入れかた／取り出しかた …15
演奏する……16
曲の早送り／早戻し……17
曲の頭出し……17
曲のイントロを聴く ……18
繰り返し聴く……18
曲順を変えて聴く……19
タイトルをつける……20
タイトルを消す……21
タイトルで検索する……22
6/12 連奏 CD チェンジャー（オプション）の操作 …23

ラジオを聴く

放送局を選ぶ（マニュアル）……24
自動で放送局を選ぶ（SEEK） ……25
放送局を記憶する（プリセット・メモリー） …26
自動で放送局を記憶（オート・メモリー） 27
FM/AM 放送局を合わせて記憶……27
記憶させた放送局を受信……28
道路交通情報……29
放送局にタイトルをつける ……30
タイトルで検索する……31
タイトルを消す……32
電波の強度をバーグラフでみる ……33

便利な機能

ラウドネスの ON/OFF ……34
サブウーハーレベルの調整……35
ノン・フェダー・プリアウトの切りかえ …36
FM ダイバーシティ ……37
サウンドガイド機能……38
コントラスト調整……39
外部割り込みモードの ON/OFF …40
デジタル・アウトの ON/OFF ……41
ディスク・ジョッキー機能の設定…42
時刻表示機能……44
デモンストレーション……45
メッセージを入れよう……46
バックライトを OFF にする ……47

拡張ユニットをコントロールする

TV ……48
MD/MD チェンジャー ……53
カセット ……55
オーディオ・プロセッサー ……58

リモコンで操作する

使用時のご注意……60
基本操作/CD/MD を操作する/ラジオを聴く …61

その他

ディスクの取り扱い……63
故障かな？ と思ったら……64
保証について……66
規格……67

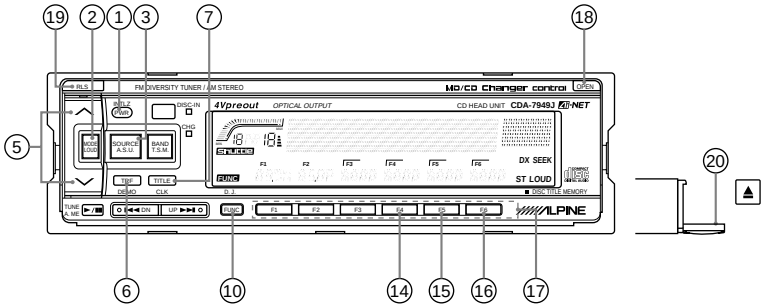
Memo

演奏する

よく使う操作項目には「アイコン（絵表示）」がついています。アイコンは、各ページ上部の角にも載っていますので、検索するときに利用してください。

このページでは、ソースごとのスイッチの名称について説明しています。
CD は「CD を聴く」、ラジオは「ラジオを聴く」をご覧ください。
リモコン操作については、61 ページ、62 ページの「リモコンで操作する」をご覧ください。

基本操作 (P. 9～P. 14)　便利な機能 (P. 34～P. 47)



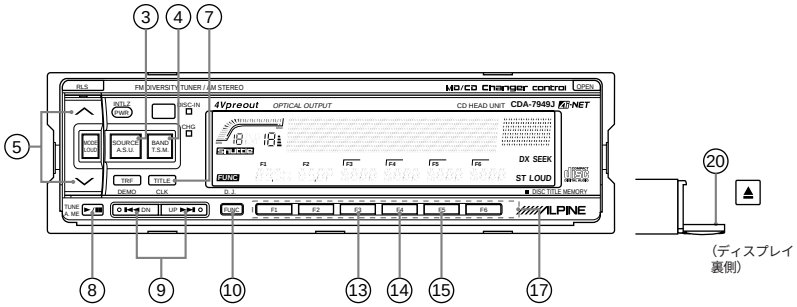
	基本操作	便利な機能
1	電源スイッチ／イニシャライズ・スイッチ	
2	オーディオ・モード切りかえスイッチ	ラウドネス・スイッチ
3		オートマチック・セット・アップ・スイッチ
5	オーディオ・レベル調整スイッチ	
6		デモンストレーション・スイッチ
7		時刻表示／時刻調整スイッチ
10	ファンクション ON/OFF スイッチ	
14		時報合わせスイッチ
15		時調整スイッチ
16	ミュート・スイッチ	分調整スイッチ
17	ファンクション・スイッチ *	
18	ディスプレイ・オープン・スイッチ	
19	リリース・スイッチ	
20		ブラック・アウト ON/OFF スイッチ（CDA-7949J のみ）

Memo

＊ファンクション・スイッチについて

ファンクション・スイッチの使いかたは、8 ページの表を参考にしてください。

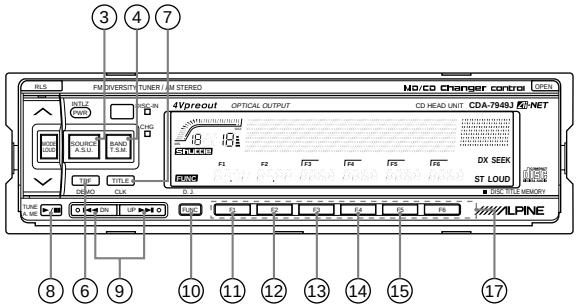
CD を聴く (P. 15～P. 23)



3	オーディオ・ソース選択スイッチ	10	ディスク・ジョッキー選択スイッチ ファンクション ON/OFF スイッチ
4	タイトル・サーチ・メニュー・スイッチ		
5	ディスク選択モード切りかえスイッチ **	13	ミュージック・イン・クロスプレイ・スイッチ
7	タイトル・スイッチ	14	リピート・スイッチ
8	プレイ／ポーズ・スイッチ	15	スキャン・スイッチ
9	早送り／早戻しスイッチ	17	ディスク NO. 選択スイッチ **
		20	イジェクト・スイッチ

**CD チェンジャーを接続している場合に有効です。

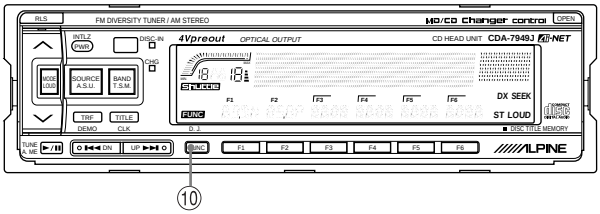
ラジオを聴く (P. 24～P. 33)



3	オーディオ・ソース選択スイッチ	10	ファンクション ON/OFF スイッチ
4	バンド切りかえスイッチ タイトル・サーチ・メニュー・スイッチ	11	プリセット・ダウン・スイッチ
		12	プリセット・アップ・スイッチ
6	トラフィック・インフォメーション・スイッチ	13	ダイレクト・アクセスメモリー・プリセット・スイッチ
7	タイトル・スイッチ	14	ステレオ／モノラル・スイッチ
8	オートメモリー・スイッチ チューニング・モード切りかえスイッチ	15	チューナー・リコール・スイッチ
		17	プリセット No. 選択スイッチ
9	チューニング・アップ／ダウン・スイッチ		

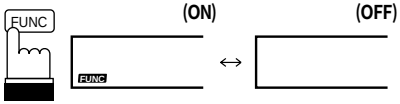
ファンクションスイッチを覚えて、操作をマスターしよう。

ファンクションスイッチの使いかた

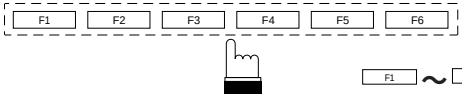


1 FUNC ON/OFF スイッチを押します。

押すごとに **FUNC** インジケーターが点灯／消灯します。



2



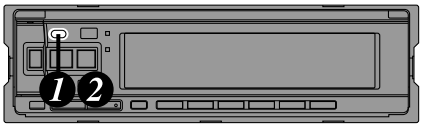
F1 ～ F6 のいずれかを押します。

モード ＼ ファンクションインジケーター（点灯／消灯）		F1	F2	F3	F4	F5	F6
ラジオ	FUNC	P-DN（プリセットダウン）	P-UP（プリセットアップ）	D.A.P.（ダイレクト・アクセスメモリー・プリセット）	MONO（ステレオ／モノラル）	T.RCL（チューナー・リコール）	MUTE（ミュート）
		プリセット 1	プリセット 2	プリセット 3	プリセット 4	プリセット 5	プリセット 6
CD ヘッド・ユニット	FUNC			M.I.X.（ミュージック・イン・クロス・プレイ）	RPT（リピート）	SCAN（スキャン）	MUTE（ミュート）
CD チェンジャー	FUNC	D-DN（ディスクダウン）	D-UP（ディスクアップ）	M.I.X.（ミュージック・イン・クロス・プレイ）	RPT（リピート）	SCAN（スキャン）	MUTE（ミュート）
		ディスクセレクト 1（ディスクセレクト 7）	ディスクセレクト 2（ディスクセレクト 8）	ディスクセレクト 3（ディスクセレクト 9）	ディスクセレクト 4（ディスクセレクト 10）	ディスクセレクト 5（ディスクセレクト 11）	ディスクセレクト 6（ディスクセレクト 12）
ディスク・ジョッキー選択モード	FUNC			ROCK（ロック）	POPS（ポップス）	JAZZ（ジャズ）	USER（ユーザー）
時計調整モード					時報合わせ（CT）	時調整（HOUR）	分調整（MIN）

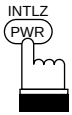
Memo

FUNC インジケーターを消灯（OFF）した場合、5 秒後自動的に点灯します。ファンクションを OFF 設定するときは、5 秒以内に各ファンクションスイッチを押してください。

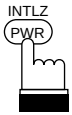
電源の ON/OFF



1 **PWR（パワー）スイッチを押します。**

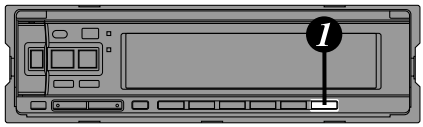


2 **電源を切るときは、再度 PWR スイッチを押します。**

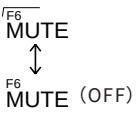


Memo 取り付け後、最初に電源を ON にしたとき、自動的に A.S.U モードに入ります。詳しくは、14 ページの「オートマチック・セット・アップ機能」を参照してください。

瞬時に音量を下げる MUTE（ミュート）

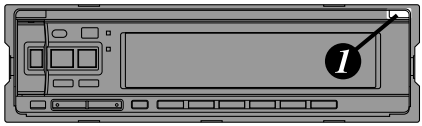


1 **FUNC インジケーターが点灯のとき、F6（ファンクション 6）スイッチを押します。**



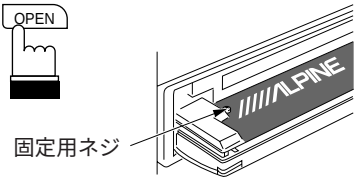
解除するには、再度 F6 スイッチを押します。

パネル固定ネジを外す

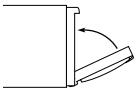


リセットするには、先に「パネル固定用ネジ」を外す必要があります。

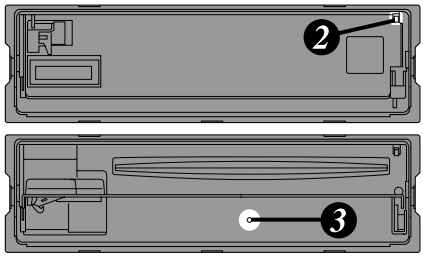
1 **OPEN スイッチを押して、ディスプレイの内側にある固定用ネジを外します。**



2 **ディスプレイを手でカチッとロックするまで閉めます。**



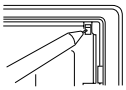
リセットする



初めて使う、CD シャトルを取り付けた、車のバッテリーを交換したときは、パネル固定ネジを外して、リセットしましょう。

1 **パネルを取り外します。**
（取り外しかたは、「パネルを取り外す」11 ページを参考にしてください。）

2 **右上のスイッチを押します。**
自動で中のプレートが開きます。

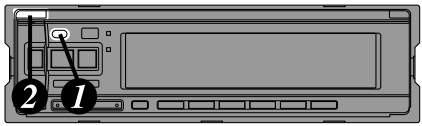


3 **プレートより下部にあるリセット・スイッチをボールペンなどの先のとがったもので押します。**

4 **手でプレートをカチッと音がするまで、元の位置に戻します。**

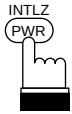
5 **パネルを取り付けます。**
（取り付けかたは、「パネルを取り付ける」11 ページを参考にしてください。）

パネルを取り外す



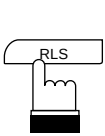
「パネル固定ネジ」（10 ページ）を外すと、フロントパネルが取り外せます。

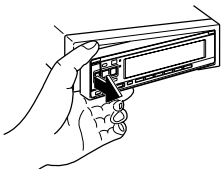
1 **PWR スイッチを押して電源を切ります。**



2 **RLS（リリース）スイッチを押します。**

パネルの左端をつかんで、静かに手前に取り外します。



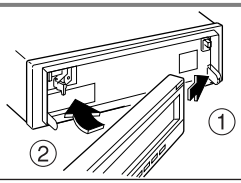


Memo 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっていても故障ではありません。

パネルを取り付ける

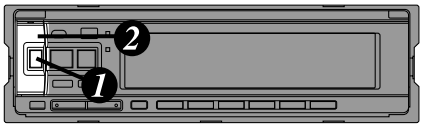
1 **右端のかどへパネルを斜めに合わせます。**

2 **右側を押さえながら、左端をまっすぐ、そのままゆっくりカチッと音がするまで押し込みます。**



Memo 右端のかどを合わせてからパネルを入れるとスムーズに取り付けることができます。

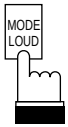
音量／音質／バランス／フェダーの調整

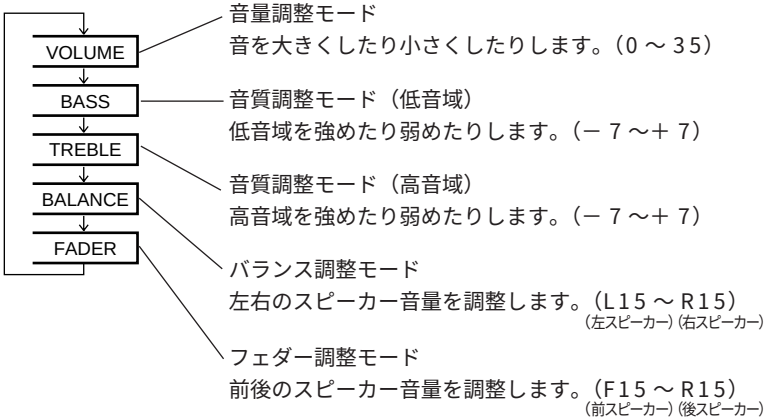


モードを選択して好みのレベルに調整することができます。

1 MODE（モード）スイッチを押します。

押すたびにモードが切りかわるので、調整したいモードを選びます。

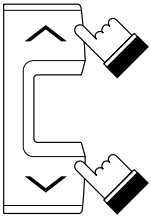




イコライザーを接続した場合、音質調整モードの BASS（低音域）／TREBLE（高音域）は表示されません。これをトーン・バイパス機能と呼びます。BASS （低音域）／TREBLE（高音域）の調整は、イコライザー側で行います。

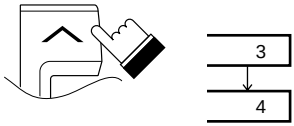
2 *1* でモードを選択したら 5 秒以内に △、▽ スイッチを押してレベルを調整します。

スイッチの押しかたで調整速度を
変えることができます。



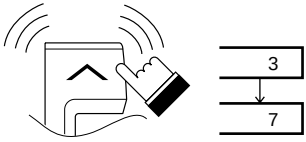
［例：ボリューム調整］

►浅く押す



（数字の表示が一段階変わる）

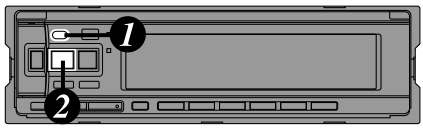
►深く押し続ける



（数字の表示が速く変わる）

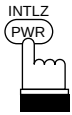
Memo
- モードを選択して 5 秒間レベル調整を行わなかった場合、モード選択前の表示に戻ります。
- イコライザーを接続した場合の調整は、イコライザー側の説明書も合わせてご覧ください。

オートマチック・セット・アップ（A.S.U.）をつかう



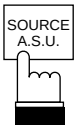
取り付け後の初期設定から音だしまでの操作を自動的に行います。

1 PWR スイッチを押します。



2 A.S.U.（オートマチック・セット・アップ）スイッチを 3 秒以上押します。

ディスプレイに A.S.U.を 3 回点滅表示させ、A.S.U.モードがスタートします。



オーディオソースをラジオモードにし、FM/AM バンドのオートメモリーがスタートします。

↓

音質（BASS/TREBLE）をフラットにします。*

↓

バランス（BALANCE）、フェダー（FADER）をセンターに合わせます。

↓

ボリューム（VOLUME）をディスプレイに表示させながら、12 の位置まで徐々に音量を上げていきます。

↓

バランス（BALANCE）を左右に動かします。

↓

フェダー（FADER）を前後に動かします。

↓

ラウドネス（LOUD）を ON にします。*

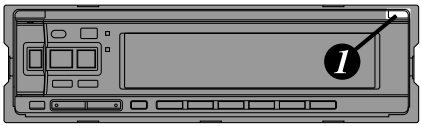
↓

A.S.U.モードを終了します。

* 外部オーディオ・プロセッサーが接続されているときは、動作を行いません。

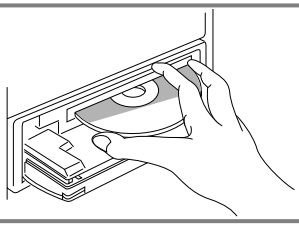
Memo 最初にバッテリー電源がつながれた直後、電源を ON にしたとき、自動的に A.S.U.モードに入ります。この場合は、A.S.U.スイッチの 3 秒以上押しは不要です。

ディスクを入れる

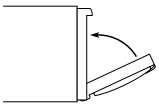


1 **OPEN（オープン）スイッチを押します。**
ディスプレイが開きます。

2 **ディスクを挿入します。**
ディスクが挿入されると演奏が始まります。



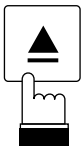
3 **ディスプレイを手でカチッとロックするまで閉めます。**



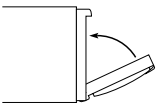
ディスクを取り出す

1 **OPEN スイッチを押します。**

2 **ディスプレイの内側にある ⏏（イジェクト）スイッチを押します。**
ディスクが自動的にでてきたら、取り扱いに注意してディスクを取り出します。

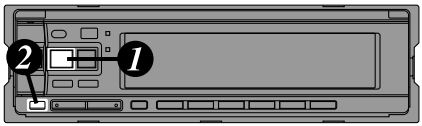


3 **ディスプレイを手でカチッとロックするまで閉めます。**

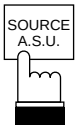


Memo CD シングルを聴く場合には、アダプターは付けないでください。誤動作の原因になります。

演奏する



1 すでにディスクが入っていることを確認したら、SOURCE（ソース）スイッチを押します。



押すごとにモードが切りかわります。

ディスプレイの表示を見ながら CD のモードに合わせてください。

TUNER → TV* → TAPE* → CD → CHANGER* → MD*

（* 各ユニットを接続している場合に表示）

Memo 切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

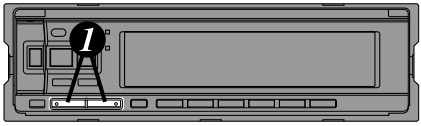
2 演奏を一時中止するには、►/ II スイッチを押します。

PAUSE

再度、►/ II スイッチを押すと演奏が開始されます。

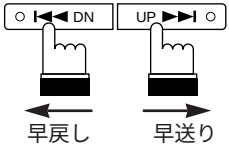
ディスクが挿入されているときはディスプレイの DISC-IN ■ インジケーター（赤色）が、チェンジャーが接続されているときには、CHG ■ インジケーター（緑色）が点灯します。

曲の早送り／早戻しをする



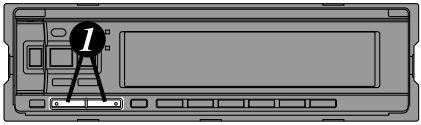
1 **早送りスイッチまたは早戻しスイッチを押し続けます。**

聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。



曲の頭出しをする

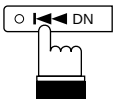
（ミュージック・センサー）



1 **（演奏中の曲の頭出しをする場合）**

DN スイッチを軽く押します。

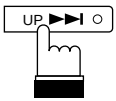
今、演奏されていた曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。

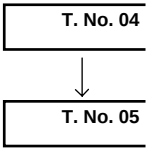


（次の曲の頭出しをする場合）

UP スイッチを軽く押します。

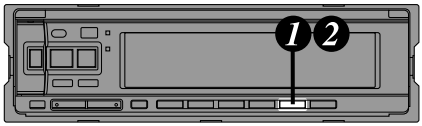
次の曲の頭から演奏が始まります。
聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。





曲の初め（イントロ）だけを聴く

SCAN（スキャン）



曲の出だしの部分を聴いて、聴きたい曲を探します。

1 **F5（ファンクション5）スイッチを押します。**

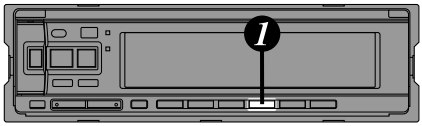
最初の曲から順に、曲の初め（イントロ）だけが 10 秒間ずつ演奏されます。

F5 SCAN (OFF)
↕
F5 SCAN (ON)

2 **聴きたい曲が見つかったら、その曲のイントロ演奏中に、再度 F5 スイッチを押します。**

繰り返し聴く

（リピート演奏）



気に入っている曲や覚えたい曲を繰り返し演奏させることができます。

1 **曲が演奏されているときに、F4（ファンクション4）スイッチを押します。**

解除するには、再度 F4 スイッチを押します。

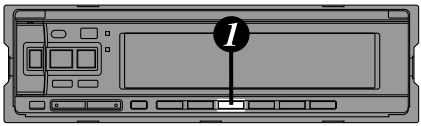
(OFF) F4 RPT
↓
（1 曲リピート） F4 RPT1
↓
（全曲リピート）* F4 RPT2

*…チェンジャー・モード時

Memo

- 解除しないかぎり、その曲の演奏が終わっても繰り返し演奏されます。
- チェンジャー（オプション）では、ディスクの全曲繰り返し演奏の全曲リピート（RPT2）ができます。

曲順を変えて聴く
M.I.X.
（ミュージック・イン・クロスプレイ）



曲を順不同に演奏させることができます。

1 F3（ファンクション3）スイッチを押します。

解除するには、再度 F3 スイッチを押します。

F3
MIX
⇕
F3
MIX (OFF)

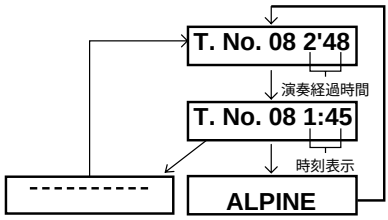
> **Memo** チェンジャー（M.I.X. ALL 機能をもつ製品）と接続したときは、M.I.X.の次にくる表示が MIX2 になります。これはすべてのディスクの曲が順不同に演奏されます。

CD タイトルを表示するには

CD タイトルを入力させたディスクであれば、タイトル表示ができます。
（入力方法は、20 ページ参照）

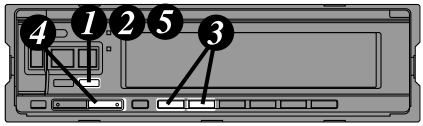
CD/チェンジャー・モードのときに、TITLE スイッチを押します。

押すたびに表示が切りかわります。



タイトル未入力のとき　タイトル表示

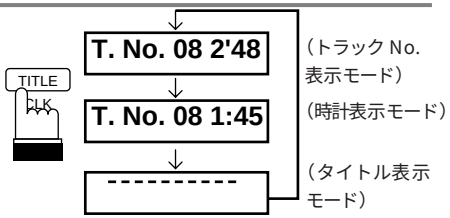
CD にタイトルをつける　TITLE
（ディスク・タイトル・メモリー）



お気に入りの CD にタイトルをつけて、演奏中にタイトルをディスプレイに表示させることができます。CD 以外のチューナー・モード（FM、AM）を合わせて、最大 150 のタイトルがつけられます。

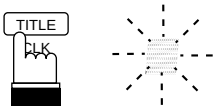
1　CD/チェンジャー・モードのときに、TITLE（タイトル）スイッチを押します。

タイトル表示モードにします。

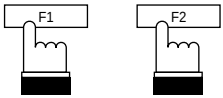


2　TITLE スイッチを 3 秒以上押します。

ディスプレイの 1 桁目が点滅し、入力可能となります。

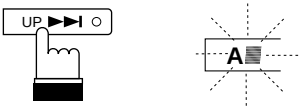


3　F1、F2（ファンクション 1、2）スイッチを押して入力する文字を選びます。



4　►►I スイッチを押します。

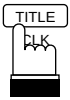
ディスプレイの 1 桁目が確定して、2 桁目が点滅します。



Memo　文字を間違えて入力したときは、I◄◄スイッチを押して桁を戻し、再度入力しなおしてください。

5　3, 4 を繰り返し、10 桁まで入力できます。

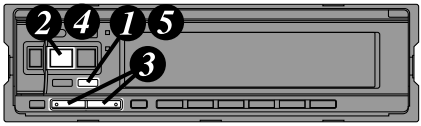
TITLE スイッチを 3 秒以上押し、タイトル入力を終了させます。



解除するには、TITLE スイッチを押して表示モードを切りかえます。

Memo
- ディスプレイに “ FULL DATA ” と表示されたときは、メモリーがいっぱいになっています。このときに、新しいタイトルを入力すると最初に入力した一番古いタイトルが消え、新しいタイトルがメモリーされます。
- メモリーしたタイトルは、接続コード（バッテリー電源コード）を外しても記憶しています。

記憶させたタイトルを消す



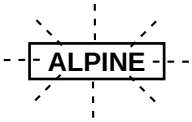
1 **CD/チェンジャー・モードのときに、TITLE スイッチを押し、タイトル表示モードにします。さらに 3 秒以上押します。**

ディスプレイの 1 桁目が点滅します。

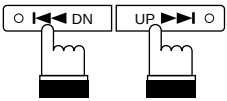
2 **SOURCE スイッチを 3 秒以上押します。**

再生中のディスクにかかわらず、最初にメモリーされたタイトルが点滅して表示されます。

（表示例）

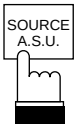


3 **I◀◀/ ▶▶I スイッチを押して、消したいタイトルを探します。**

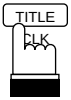


4 **タイトルが見つかったら、SOURCE スイッチを 3 秒以上押します。**

タイトルが消え、他のタイトルを表示します。



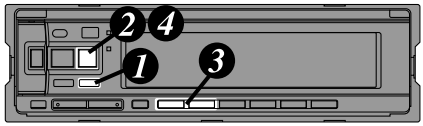
5 **解除するには、TITLE スイッチを押します。**



書き込みできる文字と記号一覧表

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	ヲ	ァ	ィ	ゥ
ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ
モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ
ン	゛	゜	。	「	」	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	&	?	!	<
>	／	＋	ー	＝	'	,	■（ブランク）		

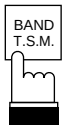
記憶させたタイトルから曲を検索する T.S.M.(タイトル・サーチ・メニュー)



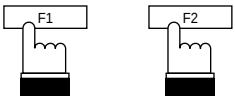
記憶させたディスク・タイトルを表示させて聴きたい曲を検索し、演奏させることができます。

1 **TITLE スイッチを押して、タイトル表示モードにします。**

2 **T.S.M.(タイトル・サーチ・メニュー)スイッチを 3 秒以上押します。**
T.S.M. モードがスタートし、タイトルを自動にスクロールさせます。



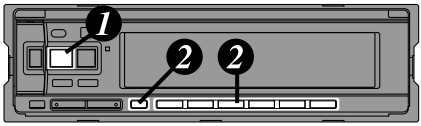
3 **F1 または F2 を押して、聴きたい曲のタイトルを探します。**



4 **聴きたいディスクが表示されたら、T.S.M. スイッチを押します。**
T.S.M. モードを解除し、聴きたいディスクの演奏が始まります。

きれいな音で楽しむには
音楽を聴いているときの「バチバチ、ヒューヒュー」といった雑音は、車両雑音がオーディオ・システムに進入してきたために起こる現象です。このような場合、アース線の接続にゆるみがないかチェックしてください。また、ノイズフィルタを使えば効果的に雑音を減らすことができますので、販売店にお問い合わせください。

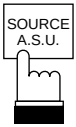
6/12 連奏 CD チェンジャー（オプション）を操作する



当社の CD チェンジャーが接続されている場合は、本機から CD チェンジャーが操作できます。ディスクを選んだ後は、本機と同様の操作ができます。

1 SOURCE スイッチを押して、チェンジャー・モードにします。

押すごとにモードが切りかわります。



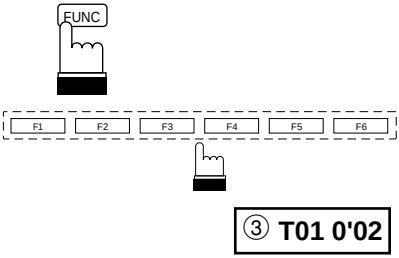
2

ディスプレイの表示を見ながら、ディスク・モードを選択します。例えば

ディスク 3 枚目を選ぶときは…

(1) **FUNC スイッチを押します。**FUNC インジケーターが消え、F1 から F6 の表示が切りかわります。

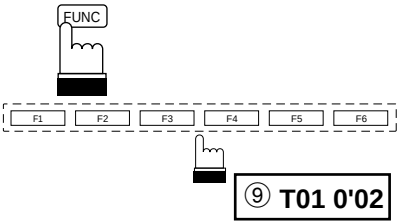
(2) **F3 スイッチを押します。**ディスプレイに点灯中の D-1 から D-6（F1 から F6）がディスク No.1 から 6 に相当します。



12 連奏 CD チェンジャーのディスク 9 枚目を選ぶときには

FUNC スイッチを 2 回押して、次に F3 スイッチを押します。

ディスプレイに点灯中の D-7 から D-12（F1 から F6）がディスク No.7 から 12 に相当します。



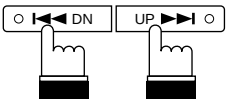
> **Memo** ディスク選択は、FUNC スイッチを押してから 5 秒以内に設定してください。

3 選択されたディスク No. が表示され、演奏が始まります。

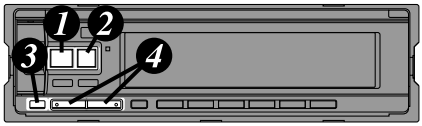
> **Memo** ファンクション・モードが ON のとき、F1、F2 スイッチを押してもディスクを選択することができます。

曲の番号（トラック No.）を指定するには

軽く DN ⏮ または UP ⏭ スイッチを押します。

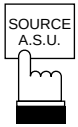


周波数で放送局を選ぶ（マニュアル）



1 SOURCE スイッチを押します。

押すたびにモードが切りかわります。
ディスプレイの表示を見ながらチューナー・モードに合わせてください。



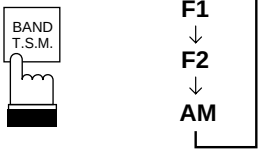
TUNER → TV* → TAPE* → CD → CHANGER* → MD*

（* 各ユニットを接続している場合に表示）

Memo　切りかわるモードは、接続するユニットによって異なります。

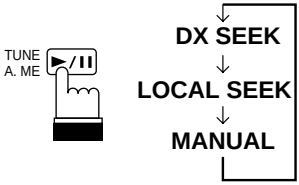
2 BAND（バンド）スイッチを押してバンド（FM1、FM2、AM）を選びます。

押すたびにバンドが切りかわります。



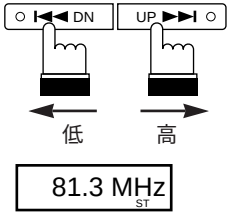
3 TUNE（チューニング切りかえ）スイッチを押して MANUAL（マニュアル・モード）にします。

●初期設定では DX SEEK になっています。



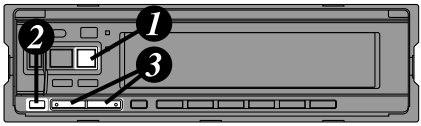
4 DN/UP スイッチを押します。

押すごとに１段階ずつ周波数が切りかわります。



Memo　ディスプレイに **ST** インジケーターが点灯しているときは、ステレオ放送が受信されている状態になっています。また、ステレオ放送が聴きにくいときはモノラル受信に切りかえることができます。切りかえかたは、26 ページ「**ステレオ放送が聴きにくいときは**」を参照してください。

自動で放送局を選ぶ　SEEK

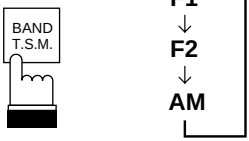


自動（SEEK）で放送局を選ぶときには、あらかじめ TUNE（チューニング切りかえ）スイッチで受信感度を設定しておくと便利です。
ディスプレイに DX SEEK インジケーターが点灯していれば受信感度はディスタンス・モードです。SEEK インジケーターだけが点灯していればローカル・モードです。

1

チューナー・モードのときに、BAND スイッチを押してバンドを選びます。

押すたびにバンドが切りかわります。



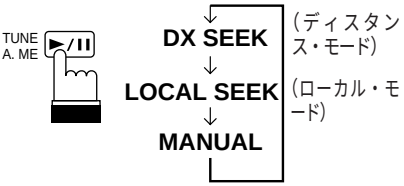
2

TUNE スイッチを押します。

押すたびにモードが切りかわります。

ディスタンス／ローカル・モードのいずれかを選びます。

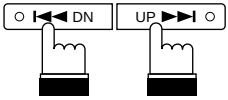
●初期設定では DX SEEK になっています。

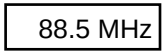


3

DN/UP スイッチを押します。

放送局を探し始め、受信するとその局の放送を始めます。別の放送局を探すには、再度、DN/UP スイッチを押します。



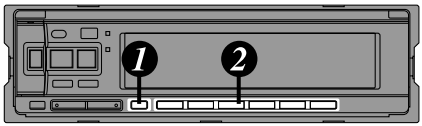


Memo

受信感度には次の 2 種類があります。
●DX SEEK（ディスタンス・モード）…電波の強弱にかかわらず、受信可能な放送局がすべて受信されます。
●SEEK（ローカル・モード）……電波の強い放送局だけが受信されます。

放送局を記憶する

（プリセット・メモリー）

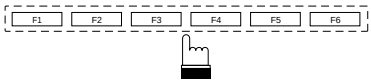


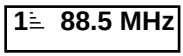
1

① **24、25 ページを参照し、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。**
② **FUNC スイッチを押します。FUNC インジケーターが消灯（OFF）します。**

2

③ **F1 ～ F6 スイッチのいずれか 1 つを 2 秒以上押します。**
ディスプレイの周波数が点滅します。
④ **ディスプレイの周波数が点滅している間（約 5 秒以内）に記憶させたいプリセット（F1 ～ F6）スイッチを押します。**
放送局が記憶（プリセット）されると、ディスプレイの周波数が点滅から点灯に変わります。
⑤ **さらに放送局の記憶を続けるには、手順 ① ～ ④ を繰り返し行います。**





Memo

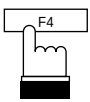
- F1 から F6 スイッチがプリセット 1 から 6（P-1 ～ P-6）に相当します。
- 放送局は全部で 24 局記憶できます。
  FM1 … 6 局、FM2 … 6 局、AM … 6 局、FM ＋ AM … 6 局（D.A.P.）
- すでに記憶させたプリセット・スイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局の方が有効になります。
- 記憶させた放送局は、接続コード（バッテリー電源コード）を外さない限り記憶されています。

ステレオ放送が聴きにくいときは

モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。

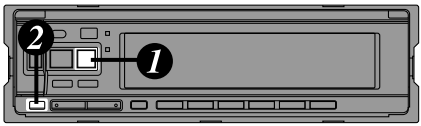
FUNC インジケーターが点灯（ON）のとき、F4 スイッチを押します。

ST インジケーターが消え、モノラル受信に切りかわります。
ステレオ受信に戻すには、再度 F4 スイッチを押します。



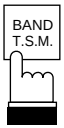
F4
MONO（OFF）
↕
F4
MONO

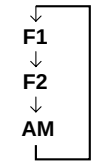
自動で放送局を記憶する A.ME
(オート・メモリー)



1

BAND スイッチを押して受信したいバンドを表示させます。





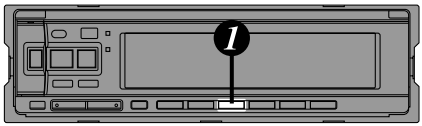
2

A.ME（オート・メモリー）スイッチを 2 秒以上押します。

電波の強い順に 6 つの放送局を自動的に受信し、F1 ～ F6 スイッチに記憶させます。自動記憶が終わると F1 スイッチに記憶された放送局が受信されます。

Memo 放送局を 1 つも受信できなかったときは、自動記憶の操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

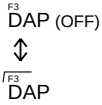
FM/AM 放送局を合わせて記憶する D.A.P.(ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット)



同じバンドに FM 放送局と AM 放送局を合わせて 6 局記憶することができます。

1

FUNC インジケーターが点灯のとき、F3 スイッチを押します。

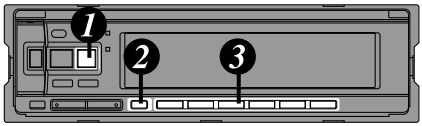


次に放送局を選択して記憶させます。

放送局の選択・記憶のしかたは**「自動で放送局を記憶する A.ME**（オート・メモリー)」、または「**放送局を記憶する**（プリセット・メモリー)」(26 ページ) を参考にしてください。

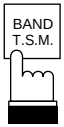
解除するには、再度 F3.スイッチを押します。

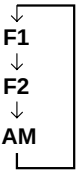
記憶させた放送局を受信する



1 BAND スイッチを押してバンドを選びます。

押すたびにバンドが切りかわります。





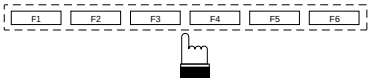
Memo FM/AM 放送局を合わせて記憶（D.A.P.）させた場合には、F3 スイッチを押して、DAP を ON にします。

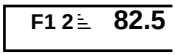
2 FUNC スイッチを押します。

FUNC インジケーターが消灯（OFF）し、ディスプレイの表示が切りかわります。

3 記憶させた放送局の F1 ～ F6 スイッチ（P-1 ～ P-6）いずれか 1 つを押します。

選択した放送局が受信されます。

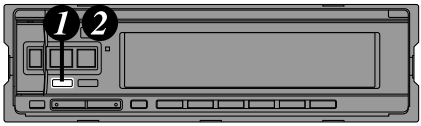




Memo 放送局（プリセット）の選択は FUNC スイッチを押してから 5 秒以内に設定してください。

道路交通情報を聴く TRF

（トラフィック・インフォメーション）



CD、ラジオのいずれかを聴いても、交通情報を受信することができます。

1 TRF（トラフィック・インフォメーション）スイッチを押します。

TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz、または 1629kHz の交通情報を受信します。

Memo F1、F2 スイッチまたは、 ◁◀◀ DN ▶▶▶ UP スイッチを押して 1620kHz、1629kHz を切りかえます。

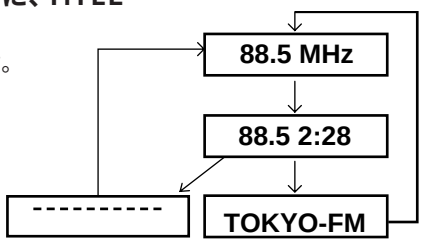
2 TRF モードを解除するには、再度 TRF スイッチを押します。

放送局のタイトルを表示するには

（入力方法は、30 ページ参照）

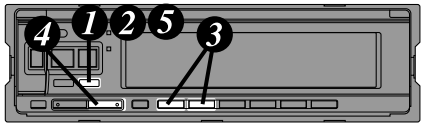
チューナー・モードのときに、TITLE スイッチを押します。

押すたびに表示が切りかわります。



放送局にタイトルをつける TITLE

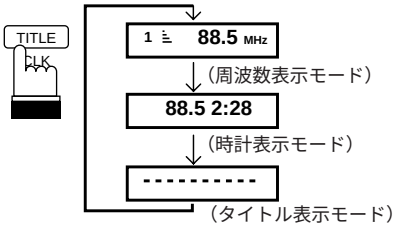
（ステーション・タイトル・メモリー）



放送局にタイトルをつけてディスプレイに表示させることができます。FM と AM、CD 合わせて最大 150 のタイトルがつけられます。

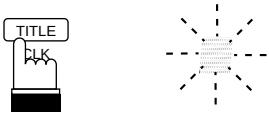
1 チューナー・モードのときに、TITLE スイッチを押します。

タイトル表示モードにします。



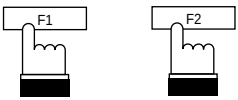
2 TITLE スイッチを 3 秒以上押します。

ディスプレイの 1 桁目が点滅し、入力可能となります。



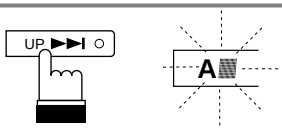
3 F1、F2 スイッチを押して入力する文字を選びます。

（31 ページの文字記号一覧表参照）



4 ►►I スイッチを押します。

ディスプレイの 1 桁目が確定して、2 桁目が点滅します。



Memo 文字を間違えて入力したときは、I◄◄スイッチを押して桁を戻し、再度入力しなおしてください。

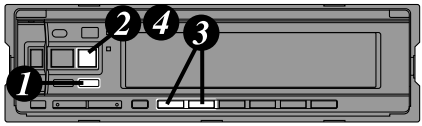
5 *3, 4* を繰り返し、10 桁まで入力できます。

TITLE スイッチを 3 秒以上押し、タイトル入力を終了させます。

解除するには、TITLE スイッチを押して表示モードを切りかえます。

Memo
- ディスプレイに “ FULL DATA ” と表示されたときは、メモリーがいっぱいになっています。このときに、新しいタイトルを入力すると最初に入力した一番古いタイトルが消え、新しいタイトルがメモリーされます。
- メモリーしたタイトルは、接続コード（バッテリー電源コード）を外しても記憶しています。

記憶させたタイトルで検索する



記憶させた放送局のタイトルから聴きたい放送局を検索し、受信することができます。

1 **TITLE スイッチを押して、タイトル表示モードにします。**

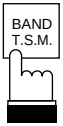
2 **T.S.M. スイッチを 3 秒以上押します。**
ディスプレイに T.S.M.を表示し、検索モードになります。

3 **F1 または F2 スイッチを押して、聴きたい放送局のタイトルを探します。**

DN

UP

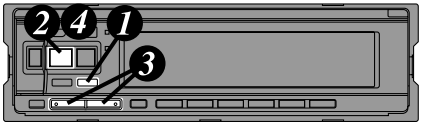
4 **聴きたい放送局のタイトルがあらわれたら、T.S.M. スイッチを押します。**
検索モードが解除され、聴きたいタイトルの放送局を受信します。



書き込みできる文字と記号一覧表

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	ヲ	ァ	ィ	ゥ
ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ
ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ
ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ
モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ
ン	゛	゜	。	「	」	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	&	?	!	＜
＞	／	＋	ー	＝	'	,	■（ブランク）		

記憶させたタイトルを消す

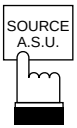


1 **チェーナー・モードのときに、TITLE スイッチを押し、タイトル表示モードにします。さらに 3 秒以上押します。**

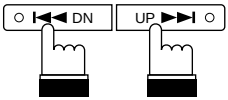
ディスプレイの 1 桁目が点滅します。

2 **SOURCE スイッチを 3 秒以上押します。**

メモリーしたタイトルが点滅表示されます。

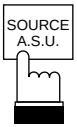


3 **I◀◀/ ▶▶I スイッチを押して、消したいタイトルを探します。**



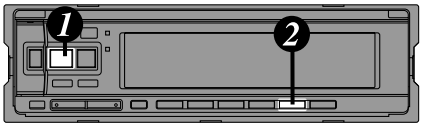
4 **タイトルが見つかったら、SOURCE スイッチを 3 秒以上押します。**

タイトルが消え、他のタイトルを表示します。



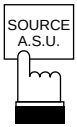
Memo タイトル名を消すには、他に 31 ページ「文字記号一覧表」の■（ブランク）を選び、入力する方法があります。
すべてのタイトルが消された場合は、“ NO DATA ” を表示します。

電波の強度をバーグラフでみる
T.RCL (チューナー・リコール)



CD などを再生中に、希望放送局の電波状況をバーグラフで表示し、受信状態を確認することができます。

1 **SOURCE スイッチを押してチューナー・モードにします。**



2 **FUNC インジケーターが点灯のとき、F5 スイッチを押します。**

CD などを再生中、受信している放送局の電波強度をバーグラフで表示します。

解除するには、再度 F5 スイッチを押します。

Memo パワー・アンテナ車の場合、ラジオを聴いているときと同様に T.RCL（チューナー・リコール）を設定中は、アンテナが伸びた状態になります。